

宮前ガバナンス10月号

地震や豪雨に備え、災害に強い街づくりを！

2013年度決算議会報告 川崎市議会議員 石田やすひろ

決算審査特別委員会の分科会で、区内にある水道管

の耐震化と浸水対策を市に

質し、ライフラインの強靱

化を進める議論をしました。

川崎市では、安定給水の

確保と安全性の向上を図る

ため、水道施設の耐震化を

推進しています。耐震化の

目標は2018年度に管路

的に水道管の耐震化を進め

たい施設はありません。例え

ば、宮前区内で未実施であ

る川崎市立小学校15施設

や、保育所、帰宅困難者一

時滞在施設、その他公共施

設等、避難時に重要拠点と

なる施設を優先して整備を

図っていくよう、分科会で

は川崎市に要望しました。

一方で浸水対策ですが、

2013年度では土橋や野

川の雨水を流す管路の口径

を75ミリから350ミリに

更新する工事や、宮崎地区

の下水幹支線工事など区内

各地域で順次、整備を進め

ています。また、宮崎地区

では国の下水道浸水被害総

合事業を適用し、馬絹地区

では市の重点化地区として

対応を図っています。



川崎市立大蔵中学校卒業、明治大学大学院(公共政策修士)修了、国会議員の秘書を経て1999年28歳初当選。現在4期目。子育て支援策の強化や区役所機能の強化を推進する。その他、政策を議会で提案し多数実現している。議会発言後は、必ず新聞や広報紙を作成しその内容について積極的に市政報告を実施。

他のブログ等は

市議会議員 石田やすひろ

検索

10月3日決算審査特別委員会における総括質疑で、自民党を代表して質問しました



今月の1枚

10月3日決算審査特別委員会における総括質疑で、自民党を代表して質問しました